

平成 28 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録

日 時：平成 28 年 10 月 28 日（金） 17:45～19:30

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館 210 号室（社会基盤工学専攻大会議室）

出席者：寺島会長，今枝（東京支部長），浜嶋（関西支部長・代理鳥居），戸田（教員幹事），趙（留学生担当），吉川（会計担当），酒井（ウェブサーバ担当），高瀬（2 期），大澤（4 期），遠山（5 期），谷（6 期），大内（8 期），伊藤（11 期），水野（12 期），田中（13 期），向井（15 期），大東（16 期），水谷（19 期），伊東（20 期），後藤（21 期），加藤（22 期），中野（24 期），野田（25 期），鈴木（26 期），川崎（29 期），萩野（30 期），石川（31 期），香川（33 期），三輪（34 期・幹事長），中井（36 期・会計），山本（38 期・しゃち担当），中村（39 期・会計），奥岡（44 期・名簿），工藤（51 期・学生会会長），福和（51 期），鈴木（52 期），根橋（4 年・代理谷口） 出席者数 37 名

■役員会に先立ち，会長・幹事長からの挨拶および幹事自己紹介（資料 28-2-0）があった。

報 告

1. 会計報告（資料 28-2-3,4） （中井）

- ・ 会費の支払い状況は正確な数字がわからないので，現時点では空欄としている。
- ・ 総会講演会補助・学生支援・支部補助などの説明があった。
- ・ 消耗品には新たに購した事務局用のパソコンが計上されている。
- ・ 今後は名簿やしゃちの印刷を支出予定である。
- ・ 例年と同程度の支出となっている。
- ・ 今年度は 3 期がプレミアム会員となる予定。
- ・ 全体の会費納入率は 49.7%である。

2. 支部活動報告

1) 東京支部（資料 28-2-6） （今枝）

- ・ 役員会，幹事会が開催されたと報告があった。
- ・ 支部総会の開催予定の説明があった。今年は 100 名以上の参加が見込まれており，伊藤先生，三輪幹事長，田代副幹事長も来賓されるため，年々盛況を増している。
- ・ 24 期以降の活動が活発ではない（幹事が積極的ではない）ので，大手ゼネコンが幹事をしていく。今年は大林組，来年以降は鹿島建設，大成建設，清水建設の順に回す）

2) 関西支部（資料 28-2-7） （浜嶋・代理鳥居）

- ・ 平成 28 年度前期の活動計画が説明された。
- ・ 全学同窓会関西支部総会(5/14)では，天野浩教授の講演があった。
- ・ 関西支部バリバリ会（若手懇親会）を開催し，若い人を呼び込み，銀シャチ会では 60

歳以上の方をお呼びした。

- ・ 関西支部の参加費は 2000 円で抑えられている。

3. 教室近況報告（資料 28-2-8） （戸田）

- ・ 来年度 4 月から工学研究科の組織改編がある。学科が 5 から 7 に増え、環境土木工学コースから環境土木工学プログラムに、社会基盤工学専攻から土木工学専攻に変更される。大学の学科（環境土木建築学科）は変わらない。
- ・ 国際化が進んでいる。10 月に秋入学 28 名の留学生が入った。大学院の講義では半分が留学生という状況もある。

4. 学生会活動報告（資料 28-2-9） （工藤）

- ・ 平成 28 年度前期の活動として土木展、土木懇親会、研究室対抗ソフトボール大会についての報告があった。
- ・ 土木展においてコンクリート人形作成などを実施しており、子供たちに人気を博している。
- ・ 今年も土木懇親会が行われ、125 名の参加があり大変好評であった。
- ・ ソフトボール大会では支援金を使わなかったので次回のイベントへ持ち越す。
- ・ 昨年、卒業アルバムの制作を行い人気だったため、今年も行う予定である。

5. 留学生関連活動報告（資料 28-2-10） （趙）

- ・ Alumni Newsletter Issue No.4, 5 が発刊された。
- ・ 各 party での支援金が報告された。

6. 女子の会活動報告（資料 28-2-11） （後藤・代理三輪）

- ・ 土木女子の会について活動報告があった。

7. 特定基金の創設についての説明（資料 28-2-12） （三輪）

- ・ 特定基金が創設されることの説明があった。
- ・ 名古屋大学基金は企業から集金し、工学部工学研究科への直接使用は不可能なもので、特定基金は同窓生から集金し、直接工学部工学研究科で使用できるものである。目的を明確にして寄付ができる。奨学金や海外派遣支援などに使用する予定。
- ・ 既に工学部 HP には情報が記載されており、今後鏡ヶ池会の HP にも記載する予定である。
- ・ 同窓会が主なチャンネルとなって情報を配信してもらえること期待している。

8. その他

- ・ 同期会の報告について （三輪）
2 期が 50 年会を開催したとの報告があった。
12 期が 40 年会を開催したとの報告があった。

16期が35年階を開催したとの報告があった

21期が30年会を開催したと報告があった。39名の参加があった。しゃちに投稿。

22期が30年会を開催したと報告があった。13名の参加があった。

31期が20年会を開催したと報告があった。23名の参加があった。近況報告集をつくってみんなで回覧した。

36期が15年会を開催したと報告があった。しゃちに投稿。減災館や大学内の見学が行われた。

- ・ 全学同窓会・ホームカミングデイについて

10/15に開催された。減災館，NUブリッジの見学が行われた。

伊藤先生が全学同窓会副会長に就任された。

議 事

1. 鏡ヶ池会名簿 No.52 編集経過報告と今後の予定（資料 28-2-13）（奥岡）
 - ・ 本日までの修正内容は名簿に反映する。
 - ・ 11月上旬には最終原稿を作成し，12月上旬には納品・発送する予定。
 - ・ 名誉教授の先生（14名程度）には，紙媒体で無料配布してほしいとの依頼があった。それ以外の人で紙媒体が欲しい人については，これまで通り有料で配布する。
 - ・ 次回までに，印刷費等の金額等を調査して報告することとした。
2. 「しゃち」No.57 編集方針（資料 28-2-14）（山本）
 - ・ 特集・林良嗣先生退職記念号を作成中と報告された。
 - ・ 例年通りのスケジュールで原稿を集めている。
3. 「銀しゃち」について（三輪）
 - ・ 銀しゃち第5号は9月末に発送された。
 - ・ 編集担当の杉野氏より，原稿が中々集まらないことで大変苦勞をされたことが報告され，銀しゃちは一旦休刊することに決定した。
 - ・ 今後，再開の希望が寄せられ，編集長を担当できる方いたら再開を検討する。
4. 留学生渡日に関する天候の影響およびチューターの出迎えについて（資料 28-2-15）（戸田）
 - ・ 現在，土木系教室の留学生に対するケアは手厚く，チューターが空港に出迎えや日本での生活のスタートアップの支援も行っている。留学生からもサポートで助かっているとの意見が多く，土木教室では今後も同じ対応をしていく予定。
 - ・ チューターの出迎えの交通費は大学からの支払いが困難なため，鏡ヶ池会に支援していただきたい（43000円程度）との提案があり，これを承認した。
 - ・ 本年度の受け入れの際，台風の影響でフライトに遅れが発生し，当日入寮できなかった留学生は急遽ビジネスホテルに宿泊した。今回に限り，その宿泊費を支援していただきたい（39000円程度）との提案があり，これを承認した。
 - ・ 今後は，トラブル時の対応等を事前に留学生に告知したり，保険に入れる国の人は入っ

てもらおうなど、事前周知を徹底していく。また、基本的には、トラブル等で発生した宿泊費は自己負担とするが、留学生の国によっても状況が異なるため、その都度検討することとした。

5. 次期会長の選出方法について（資料 28-2-16） （三輪）
- ・ 内規の説明があった。次の役員会で会長が決定する。
 - ・ 会長推薦案作成委員会の構成の発表があり、これを承認した。
 - ・ 会議終了後、33期までの幹事の方にメールで配信するため、同期の方に配信してもらいたい。
 - ・ 自分の期のみではなく前後の期でも可能。ただし、自薦はできない。
6. その他 （三輪）
- ・ 次回以降は役員会開始前に軽食を準備し、役員会後にケータリングを持ち込んで懇親会を行う。目標としては懇親会を19時から始めたい。次回役員会は、4/14、4/21のどちらかで行う予定。

以上